



イタリアが世界に誇る鬼才チェリスト
 リツカルド・ムーティ、ヨーヨー・マ、2CELLOS...天才達が絶賛!

G i o v a n n i S o l l i m a

〈演奏予定曲目〉

J.S.バッハ:
 無伴奏チェロ組曲第1番
 Bach : Cello Suite No.1

J.S.バッハ:
 無伴奏チェロ組曲第3番
 Bach : Cello Suite No.3

ジョヴァンニ・ソッリマ:
 ナチュラル・ソングブック
 G. Sollima : Natural Songbook

ジュリオ・デルーヴォ:ロマネッラ/
 チャッコーナ/タランテッラ
 Giulio de Ruvo (XVII c) :
 Romanella, Ciaccona, Tarantella

フランチェスコ・コルベッタ:
 カプリス・デ・シャコンヌ(ソッリマ編曲)
 Francesco Corbetta (1615-1681) :
 Caprice de Chaconne (arr. G. Sollima)

ジョヴァンニ・ソッリマ:
 ファンダンゴ(ボッケリーニへのオマージュ)
 G. Sollima : Fandango (after Boccherini)

シチリアのアルバニア系住民に伝わる伝承曲:
 美しきモレアよ(ソッリマ編曲)
 Traditional arbëreshë Sicily/Albania :
 Moj e Bukura More (arr. G.Sollima)
 ほか

※演奏曲目は予告なく変更になる場合があります

ジョヴァンニ・ソッリマ 無伴奏チェロ・コンサート2023

4/30 [日] 15:30開演 (15:00開場)

浜離宮朝日ホール

料金(指定・税込) ¥6,500 / 25歳以下 ¥3,500 (当日に要身分証提示)
 ※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

主催:朝日新聞社 / 浜離宮朝日ホール / プランクトン

■ 2023年 1/13(金) 10:00発売
 朝日ホール・チケットセンター
 03-3267-9990 (日・祝除く10~18時)
 朝日ホール・チケットセンター 検索

■ 2023年 1/21(土) 10:00発売
 チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
 (Pコード:229-312)
 セブン-イレブンでも購入可能
 イープラス <https://eplus.jp/>
 ファミリーマートでも購入可能

■ 2022年 12/21(水) 発売
 プランクトン (WEBは0時・電話は13時より)
 03-6273-9307 (平日13~17時)
<https://plankton.co.jp/>

同日上映!
 映画「氷のチェロ物語」との
 セット割引あり(詳細裏面参照)
 ※プランクトンのみ取り扱い





ジョヴァンニ・ソッリマ

1962年イタリア・シチリア州パレルモ出身。チェロ奏者兼作曲家。音楽一家に生まれ、作曲家兼ピアニストのエリオドロ・ソッリマを父に持つ。シュトゥットガルト音楽大学とモーツァルテウム音楽大学で、チェロをアントニオ・ヤニグロ、作曲をミルコ・ケレメンに師事。1998年にフィリップ・グラスのプロデュースのもと、アルバム・デビュー。これまでにリッカルド・ムーティ(指揮者)、マルタ・アルゲリッチ(ピアニスト)、クラウディオ・アバド(指揮者)、世界的チェリストのヨーヨー・マ、マリオ・プルネロ、ミーシャ・マイスキーらとも共演。クラシックを基に、バロック、オペラ、そして、ロックに即興まで、400年に渡る音楽の歴史を自在に旅し、民族音楽まで飲み込んだシチリアならではの自由な作風を持つ。大自然の息吹と太古からの魂をチェロに込め、森羅万象の美を歌う。日本には、2004年に(東京の夏)音楽祭でM・プルネロと初来日。2019年に「100チェロ」公演とともに、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(指揮:藤岡幸夫)のソリストとして出演。2023年度は日本フィルハーモニー交響楽団とドヴォルザークの「チェロ協奏曲」を演奏する。今回は、初めての「無伴奏チェロ」コンサート・ツアーを全国で実施。氷のチェロを弾くソッリマのドキュメンタリー映画「氷のチェロ物語」(原題: N-Ice Cello - Tale of the Ice Cello)も来日時に特別公開。

「彼の前では、僕はまるで子猫のようなものだ。彼はチェロの超達人で、怖いもの知らずだ」(ヨーヨー・マ)

チェロ1本が生み出す、森羅万象の息吹、躍動。

Anima siciliana —“命”を奏でるチェロ

《100 チェロ》プロジェクトのコンサートのために来日したジョヴァンニ・ソッリマに密着取材する機会を得たのは2019年の夏だった。インタビューをおこない、リハーサルをずっと見学し、昼食を一緒にとり、本公演を堪能したその2日間を通して私の心に改めて深く刻まれたのは「命」という言葉だった。つまり、ソッリマは命そのものを奏でる人であるということ、あるいは、彼のチェロは命そのものであるということ。

奏でられる音のひとつひとつ、身振りのひとつひとつ、言葉のひとつひとつにエロスとパッションがみなぎり、生命力が躍動している。もちろんそれは、いたずらにテンションが高い人、という意味ではない。繊細なヴィブラートやピチカート、対話の中のちょっとした沈黙やほほ笑みからだって強烈な生命力が伝わってくる。そしてその生命力は、草木や動物、土、水、風など、我々を取り巻くありとあらゆる存在に宿っていることをソッリマは知っている。彼の眼差しは常に、この世界で輝き、互いにつながり、生かしかうすべての命に注がれているのだ。

9才でチェロを弾き始め、「ベートーヴェンを猛練習した翌日はフランク・ザッパを自由に弾く」ような少年だったソッリマは、常に、ボーダーを越え続ける旅人だった。民族や人種のボーダー、文化のボーダー、ジャンルのボーダー、そして時間のボーダー…。

だから、彼のコンサート・プログラムには、作曲家名としてバッハやベートーヴェンやドヴォルザークなどと並んでピンク・フロイドやレナード・コーエン、メタリカといった名前も当然のように並ぶ。また、彼の自作曲には、アフリカやアラブやインドやバルカンの音楽、ジプシー音楽、ケルト音楽など世界中の伝統音楽／民俗音楽のエッセンスが詰まっている。太古よりさまざまな民族が去来し、いくつもの文化が混交、堆積してきた地中海の交差点シチリアで生まれ育ったソッリマにとっては、異文化の混交も、そこから生まれる新しいハーモニーも、ごく自然のことなのだ。生まれながらの“世界人”としての彼の目は、いつだってこの地球という星全体を見つめている。

チェロ1本だけを携えてやって来るジョヴァンニ・ソッリマ。しかしそのたった1本のチェロと Anima siciliana(シチリアの魂)は、私たちに世界の広さと多様さを、無数の生命の脈動と輝きを体感させてくれるはずだ。

文=松山晋也(音楽評論家)

● 浜離宮朝日ホール

住所:〒104-8011

東京都中央区築地5-3-2

朝日新聞東京本社・新館2階

TEL:03-5541-8710

※就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約)0120-788-222



主催:朝日新聞社/浜離宮朝日ホール/プランクton
企画・制作:プランクton 後援:イタリア大使館、イタリア文化会館
協力:ワーナーミュージック・ジャパン
チラシデザイン=タカハシデザイン室+プランクton



新型コロナウイルス感染拡大防止策について、詳しくは浜離宮朝日ホール公式サイトにてご確認ください。

浜離宮朝日ホール 検索

2023/4/30(日)開催 ジョヴァンニ・ソッリマ 映画とコンサートのセット割引 各回入替 合計¥7,500 **¥500お得!**

開始時間	料金(税込)	セット割引
12:00上映	映画『氷のチェロ物語』(13:20終了) 自由席 ¥1,000 (整理番号順入場)	¥7,000 (映画+コンサート) ※プランクtonのみ取り扱い
15:30開演	ジョヴァンニ・ソッリマ コンサート 指定席 ¥6,500 / 25歳以下 ¥3,500	

ご予約・お問い合わせ:プランクton 03-6273-9307(平日13~17時) <https://plankton.co.jp/sollima/>

同日上映



ソッリマ、「氷のチェロ」を弾く!

ドキュメンタリー映画 『氷のチェロ物語』

4/30 [日]

12:00上映

(11:30開場)

● 浜離宮朝日ホール

料金¥1,000(自由席・税込・整理番号つき)
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

ジョヴァンニ・ソッリマが「氷」に挑む。イタリアのアルプスの氷河地標高3200mで氷彫刻家の手により「氷のチェロ」が製作された。アルプスの山から地中海シチリアへと、氷点下でのみ保たれる氷の彫刻チェロを伴って、イタリアの街を巡るロード・ムービーが完成。ソッリマの悠長な音色が全編に響き渡る音楽ドキュメンタリー。(上映78分)

ソッリマが10年の歳月をかけた生み出した最新傑作

ジョヴァンニ・ソッリマ 『Natural Songbook』(2019)



2,800円+税
WPCS-13829
販売元:ワーナーミュージック・ジャパン